

五つの細密画

デュオ・ネム / ファーストリサイタル

Duo NéMeu

清川美穂 サクソフォン

奥田ななみ ピアノ

陽炎に沈む

ケルクリーニョ

ゲスト SENGYUN KIM (VIOLA)

委嘱新作初演 台信速 坂田直樹 中橋祐記

日本初演 ALEXANDROS MARKEAS / QUELQUES LIGNES

小金井宮地楽器ホール 小ホール 1階
東京都小金井市本町6-14-45
JR中央線「武蔵小金井駅」南口駅前

2023.8/21 月曜日

開場 18:30 開演 19:00

TICKET

一般2500円 学生1000円

duonemeuinfo@gmail.com

ARTS COUNCIL TOKYO

助成：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 [スタートアップ助成]



本公演では、20世紀の作品を6作品、うち3曲は世界初演、1曲は日本初演という選曲をいたしました。

「現代音楽に取り組む意味」はしばしば問われることです。正直、現代音楽に特別な思い入れがある訳ではありません。音楽が好きだから、現代音楽も好きなのです。その上で強いて述べるなら、現代に生きる我々が同時代の作曲家の楽曲を演奏するということは、至極自然な行為だと考えております。作曲家という方々は、さまざまな曲・音を、常人には想像し得ないほどたくさん聴いて、多様な楽器の研究をし続けていらっしやいます。そんな現代の作曲家たちの耳に、サクソフォンとピアノのアンサンブルがどのように聴こえているのか、どのような期待があるのか、興味が尽きないのです。聴衆の皆様とも、このワクワクを共有したいのです。

今回のファーストリサイタルでは、「再演性の高い作品」を裏のテーマに、サクソフォンとピアノ（内部奏法なし）という、クラシカルサクソフォニストにとって一番身近な編成の作品を三作委嘱しました。清川にとってはたいへん思い入れの強い、テナーサクソフォンとピアノの為の新曲が一夜で三曲世界初演されます。今回取り上げる楽曲が、皆様に受け入れられ、皆様の手で今度ますます再演されていくことを願っております。

Duo NéMeu

OFFICIAL WEB SITE

INFORMATIONS & CONCERT PROGRAM
←SCAN HERE

デュオ・ネム Duo NéMeu (ネムノキから由来した。揚げ春巻きではない方。)

2021年、パリ国立高等音楽院第三課程DAIに在籍していた、清川美穂(サクソフォン)と奥田ななみ(ピアノ)の二人で結成。2022年、同音楽院修士課程室内楽科に合格。これまでに、パリ内外の美術館や音楽院、音楽祭などで、クラシックから現代音楽、即興演奏のコンサートを開催。

また二人は共にパリ国立高等音楽院第三課程に2020年度より新設された、アーティスト・ディプロマに在籍中。同課程で結成されたアンサンブル・ネクストでは、数々の新作の初演や、アンサンブル・アンテルコンタンポランやアンサンブル・クルシルシキユイ等の団体との共演を果たしている。現代音楽と室内楽に対し共通の情熱を持ち、今回のリサイタルにおいては「再演性の高い新曲」をテーマに、テナー・サクソフォンとピアノのための3作品を委嘱した。



中橋 祐紀 Yuki NAKAHASHI

写真©Anne-Laure Lechat

音響、ことば、ジェスチャーなどへの関心を背景に、繊細な表現を追求した作品を多く制作している。第76回ジュネーブ国際音楽コンクールでは第2位ならびに3つの特別賞を受賞するなど、作品は国内外で評価を受け演奏されている。東京藝術大学、同大学大学院を経て、パリ国立高等音楽院作曲科に在籍中。富山県出身。

台信 遼 Ryo DAINOBU

国立音楽大学、パリ国立音楽院作曲科第1, 第2課程修了。これまでにLa Biennale di Musica, Ars Musica, Mladà Praha, World Saxophone Congress, B→Cなどで楽曲を発表。作品はEnsemble Cairn, Ensemble Court-Circuit, Ensemble Muromachi, HANATSU Miroir, L'Instant Donnéなどによって演奏されている。国立音楽大学、洗足学園音楽大学ほか講師、日仏現代音楽協会事務局長。



坂田 直樹 Naoki SAKATA

アレクサンドロス・マルケアス Alexandros MARKEAS

アテネ(ギリシャ)出身の作曲家、ピアニスト。ギリシャ国立音楽院とパリ国立高等音楽院で学ぶ。2003年以降パリ国立高等音楽院で即興演奏(improvisation générative)のクラスを受け持つ。フランス的なスペクトル音楽の技法を受け継ぎながらも、同時に伝統的な地中海音楽、ルネサンス、ロック、ジャズなどの既存の音楽からも多大な感銘を受け、作品の中に演劇的要素を取り入れ、「純粋な音楽」からの脱却を図っている。また、建築、演劇、視覚芸術など、音楽以外のさまざまな芸術表現の分野からもインスピレーションを得て、従来のクラシックのコンサートに代わる演奏芸術の提示方法を追究している。

1981年京都市生まれ。2020年4月、名フィルの第3代コンポーザー・イン・レジデンスに就任。愛知県立芸大、パリ・エコールノルマル音楽院、パリ国立高等音楽院、IRCAMで学ぶ。《組み合わせられた風景》で武満賞・尾高賞・芥川賞の三冠に輝く(1作品での3作曲賞受賞は史上初)。これまでにフランス文化省、フランス・ミュージック、サントリー芸術財団などから委嘱を受け、NHK交響楽団、アンサンブル・アンテルコンタンポランなど、著名な団体により作品が演奏されている。現在の拠点はパリ。



セユン・キム Sengyun KIM

ヴィオラ奏者。韓国出身。14歳より韓国で音楽教育を受け始め、韓国芸術総合学校に入学。在学中、韓国のコンクールで数々の賞を受賞した。2017年、パリ国立高等音楽院修士課程に合格。ジャン・スレムのもと研鑽を積み、修士号を取得。2022年、同音楽院第三課程アーティスト・ディプロマコースに入学し、アンサンブル・ネクストのメンバーとして国際的なキャリアを展開している。



お問い合わせ MAILからのチケット予約

以下の事項をご記入の上
duonemeuinfo@gmail.comへお申し込み
ください。①氏名②電話番号③枚数

◀QRコードからのチケット予約はこちら

